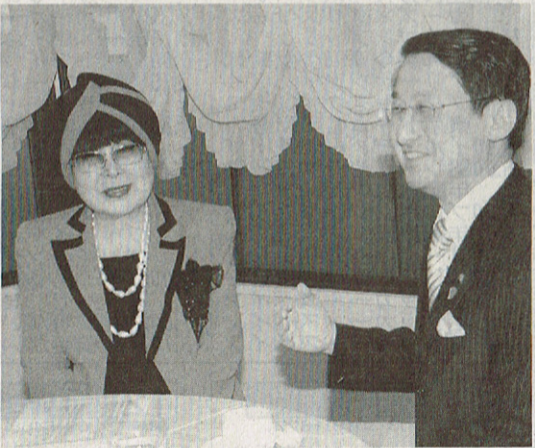


# 地域性生かした挙式提案

## 桂由美さん、知事と対談



平井知事(右)に市民参加型の挙式などを提案した桂さん(鳥取市内のホテルで)

ブライダルファッションデザイナーで、全日本ブライダル協会会長の桂由美さんが22日、鳥取市内のホテルで平井知事と対談し、地域の名所・名物などを利用した市民参加型の挙式スタイル「ふるさとウエディング」などへの理解と支援を求めた。

桂さんによると、近年は婚姻率が低下し、「地味婚」が半数近くに上るといふ。県内でも35～39歳の男女の未婚率は、男性33%、女性20%(2010年現在)と増加傾向にある。

同協会や桂さんが理事を務めるNPO法人「地域活性化支援センター」では、

ふるさとウエディングのほか、白兔海岸などを「恋人の聖地」に認定し、地域の魅力づくりにつなげている。

桂さんは「少子化の前に婚姻率が低い。子どもたちにも幸福な姿を見てもらい、ウエディングに憧れを持ってほしい」と強調。結婚式に特産物のナシを生かしたケーキを出したり、公共施設を式場として利用したりするアイデアを知事に提案した。

平井知事は「(制定を目指している)子育て王国とつとり条例の中でも、結婚式場に公共施設を提供するなど支援を検討したい」と意欲を見せた。